

# スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

日本自立生活センター自立支援事業所 2012年7月30日発行 第16号

## 居場所づくり勉強会第18弾!

～ぼくたちの車いす、見てみて!～

ぼくたちが、毎日使う大切な車いす、その車いすで自分の思いで動きたい。自由に出かけたい。

その車いす、自分の身体に合わせている。だから、いろんな形があり、いろんな機能がそれぞれにくっついている。そして、それぞれの形、それぞれの機能には、意味がある…。

その意味を、みんなで、改めて考えてほしいと思います。いつも目の前があるので、何となく介助の中で触っていた車いす。しっかり見てみると、しっかりとその機能の意味が分かると、いつもの介助に何か気づくことができるかも…。

ぼくたちの車いす、改めて見て、触って、少し体験もしてみませんか?

- ◆日 時:8月7日(火)14:00-16:00
- ◆場 所:日本自立生活センター事務所
- ◆担当:山崎信一

## こころとからだをすっきり! ヨガタイム

連日の暑さで身体の調子を崩しやすいこの時期、ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか? ヨガの目的はきれいなポーズをとることではありません。その日の身体がどんなふうに動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。ぜひ参加してみてください♪

講師は石田久美さんです。

★ヨガ:全身をうごかすヨガ

日 時:8月30日(木) 18:15-19:30 (OPEN18:00)

場 所:油小路事務所2F

持ち物:動きやすい服装・タオル・飲み物

参加費:無料

\*このヨガクラスは、JCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。

日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当:斎木・横川

TEL:075-682-7950 E-mail:[jcil-kyoto@jcil.jp](mailto:jcil-kyoto@jcil.jp) URL:<http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html>

# 職員紹介

- ① 利長 岳（としなが たかし）
- ② 2004 年から。
- ③ 学生の時に実習で宮川さんに出会ったのがきっかけです。
- ④ 介助、日中は主に移動介護をしてて、夏場は体力勝負です。下林さんと一緒に機関紙の一部原稿(Shall we～)を描いたりしてます。
- ⑤ 人と冗談いいながら楽しく話すこと。いろいろな所を旅して風景を見たり、写真を撮りたい。



- ① 宮元 貴之（みやもと たかゆき）
- ② 8 年前から。
- ③ 飲食店をやった頃、バイトの学生が JCIL でも働き始めて存在を知った。その後、店を閉めたのでその他の仕事と掛け持ちで始めた。
- ④ 主に介助、たまに送迎。
- ⑤ A:健康 B:長生き

## 職員自己紹介

- ①なまえ ②JCILとの関わりはいつから？
- ③きっかけは？ ④どんな仕事をしていますか？
- ⑤ A:大切にしていること B:これからしたいこと

- ① 齊藤 万丈（さいとう ばんじょう）
- ② 2004 年
- ③ 渡邊琢さんの紹介
- ④ 介助とコーディネーター
- ⑤ 寝ること、食べること



## 居場所づくり勉強会第17弾報告「介助の距離感?!」

事の始まりは 小泉さんとのメールの やり取りの最中唐突でしたが 以前から気になっていた事を質問しました。

質問の概要は：

- ①現状の問題点(注意点)
- ②ヘルパーに対する業務上の希望 要望
- ③利用者の視点(立場)からの理想のヘルパーのあり方 or 理想的イメージ

そして一番知りたかった

- ④利用者と介助者の立場のあり方です 顧客サービスなのか? 対等(フェア)な関係が前提なのか?

返答をもらって はい おしまいのはずが…

なんと流れで話が大きくなり 勉強会という事になりました。

しかし僕にとっては 今後の方向性が見当すらつかず 多少鬱鬱とした状態だったので たくさんの人の意見を聞けることは とってもラッキー。

そして当日 いろんな方々の意見を聞けました。

「なるほど」共感も多く とても参考になりました。

僕自身は 一番最初の こうださんとのディスカッションの中で 以下の事柄を聞き 深く納得しました。

- ①関わり合い方…

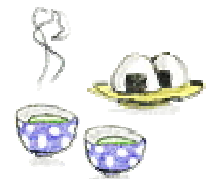
お互いの人間関係の積み重ねが信頼関係を築く するために 向き合っていく 付き合っていく

- ②ヘルパーの仕事とは…

利用者さんが

- 経験を積む 広げるため
- 楽しく暮らすため

のお手伝い



結果的にすごく単純明快な答。やはり現実はこのもの?! 最初 一人で考えてた時 話を難しく ややこしく考えようとしてました。バカみたい。

これで問題だった 方向性は定まりました。

だけど 考えても ややこしくなるだけな気がするから 愚直な感じで やってけばいいやと思っています。

とりあえず 向き合っていく 付き合っていくこと。

どうせ社会的には貧乏なんだから 気持的には いい感じで 仕事して 楽しく暮らしていきたいなと思います。

(作田)

# 総合支援法に変わるよ！ えっ、ほんま？ Part12

自立生活満喫中のリツコさん  
でもあんまり難しい話は苦手…



障害者制度改革について  
勉強中のタクオさん  
小難しいこともやさしく(?)解説



はい。来年の4月から、施行されるんやっけ？

内容は、基本的に自立支援法の改正で、あんまり変わらへんかったんやんな？

〜。どんなこと？

うん。特に自立支援法の応益負担を問題とした裁判だったね。国が謝罪して、和解したという。

確か、、、障害者権利条約の批准！

〜。実際にそういう理念が入っているん？

〜。「サービス」というよりも、「権利」か。なんか、大切そうやなあ。

さーて、今回から、新しい「障害者総合支援法」について説明するよ。

うん。基本的には来年の4月から。部分的に、再来年の4月から施行されるものもあるよ。

うん。名称は変わったけど、自立支援法は廃止にならなかったし、抜本的に改正されたとは言えないかな。けどね、やっぱり重要な変更点もあるよ。

まず、今回の法改正の位置づけを確認しよう。一つには、自立支援法違憲訴訟があったよね。そこで、自立支援法は廃止して、新しい法律をつくる、と国は約束していた。

そうだったね。実際は自立支援法廃止されなかったから、約束違反だよ。そこは大きな問題だね。政治に押し切られてしまったよ。でも、もう一つ、今回の制度改革の背景は何か覚えている？

そう！今回の制度改革の背景には、障害者権利条約の批准に向けた国内法整備、という課題があるんだ。だから、今回の障害者総合支援法も、障害者権利条約の理念が法の中に入っていると考えないといけない。

うん。今回、障害者総合支援法では、「基本理念」が追加されたんだ。これまでの自立支援法には、基本理念がなかった。自立支援法は、単なる福祉的なサービス給付法みたいな位置づけだった。けど、今回は、障害者の権利として、障害者支援がある、ということがかなり前に出てきたよ。

うん、支援は単なるサービスでなく、権利。具体的には、「障害者及び障害児が日常生活又は社会生活を営むための支援は、全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、[中略]全ての障害者及び障害児が[中略]、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと[中略]を旨として、総合的かつ計画的に行わなければならない」と言われている。途中、[中略]で飛ばしたところも、とっても大事なことが書いてあるのだけど、スペースの関係で、今はムリ！また来月！

# みんなでつくろう、わたしたちの条例を！

～障害があることによって困ること、いやな思いをすることがない社会のために～  
いま、京都府では、障害者の差別を禁止するための条例をつくろうとしています。これは、障害があることによって、差別をうけたり、不利益をうけたりすることがないように、京都府でルールをつくろうということです。

この条例づくりで何よりも大切なのは、障害のある人たちと、いろいろな人たちが同じ場で、一緒に内容を考えることです。そこで、よりよい条例をつくるために、みんなで一緒に考える集会を行います。疑問、体験談も大歓迎！わたしたち一人ひとりの声を条例に活かして、もっと暮らしやすい京都をつくっていきましょう！

みんなで一緒に考えよう！話し合おう！

☆差別事例アンケートの結果報告 ☆手話劇で見える世界 ☆盲導犬ユーザーへの差別をなくすために  
☆四コママンガで考える日常の困ったこと ☆女性障害者の声を無視しないで ☆条例への願い etc.

- ◆日時:8月19日(日)13:30-16:30 ◆会場:京都テルサ 西館3階第1会議室 ◆参加費:無料
- ◆主催:障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会
- ◆お問い合わせ:日本自立生活センター内 TEL:075-671-8484 FAX:075-671-8418



## 動画で見られる！もし、停電したら・・・ 医療機器をつかって暮らす 私の停電時への備え

京都の人工呼吸器利用者で ALS の増田英明さんが、計画停電や災害時停電対策を記録して、動画を YouTube で公開しています。下記 URL から見るができますので、ぜひチェックしてみてください。

また、増田さんは、2011 年に、福島からゲストスピーカーを招き、東日本大震災後の停電をしのいだ人工呼吸器利用者の方々とシンポジウムを開催しました。その成果は、下記の報告書にまとめられています。イラスト入りで分かりやすい停電時マニュアルも入っています。同じく下記の URL からインターネット上で見るができます。停電対策にお役立てください。

### ■人工呼吸器利用者の停電対策・準備編

<http://www.youtube.com/watch?v=6ZIknuMijA&feature=youtu.be>

### ■人工呼吸器利用者の停電対策・実験編

<http://www.youtube.com/watch?v=sAXPL-f7AeE>

### ■シンポジウム報告書

『医療機器と一緒に 街で暮らすために シンポジウム報告書 震災と停電をどう生き延びたか～福島の在宅難病患者・人工呼吸器ユーザーらを招いて～』(立命館大学生存学研究センター報告書 18)

<http://www.arsvi.com/b2010/1203gm.htm>

### ■イラストによるマニュアル

『図解「おうち暮らし」——医療機器を使って暮らすための停電時の備え』pdf

<http://www.arsvi.com/2010/1203ky.pdf>

## 【訃報】理事長 長橋 榮一 逝去のお知らせ

日本自立生活センター自立支援事業所理事長 長橋 榮一は、2012年7月4日 午前0時30分、急性心不全のため、逝去いたしました(享年81歳)。

ここに生前のご厚誼を深く感謝するとともに、謹んでお知らせいたします。

なお、故人の遺志により、通夜及び葬儀は近親者のみで執り行われ、訃報のご連絡も葬儀の後とさせていただきます。

※後任につきましては、決議され次第みなさまにお知らせいたします。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 熱中症に気をつけて！

☆涼しい服装で

☆水分補給・塩分も補給

☆しっかり栄養と睡眠をとろう

